

(2つのサイコロ編 表を使ったやり方)

2つのサイコロなら表が使える。

(例題) 2つのサイコロを同時に投げるとき、出る目の数が 10以上 になる確率を求めなさい。

		サイコロ 1 個目						
		和	1	2	3	4	5	6
サイ コロ 2 個 目	1	2	3	4	5	6	7	
	2	3	4	5	6	7	8	
	3	4	5	6	7	8	9	
	4	5	6	7	8	9	10	
	5	6	7	8	9	10	11	
	6	7	8	9	10	11	12	

2つのサイコロ
36通りあるなか、
'10'以上あるものは
6つあるとわかった

↓

$$\frac{6}{36} = \frac{1}{6}$$

(例題) 大小2つのサイコロを同時に投げるとき、次の目が出る確率を求めなさい。

(1) 同じ目が出る確率

$$\frac{6}{36} = \frac{1}{6}$$

- 1-1
- 2-2
- 3-3
- 4-4
- 5-5
- 6-6

(2) 目の数の和が9になる確率

$$\frac{4}{36} = \frac{1}{9}$$

		1 個目						
		1	2	3	4	5	6	
個 目	1	2	3	4	5	6	7	
	2	2	3	4	5	6	7	8
	3	4	5	6	7	8	9	
	4	5	6	7	8	9	10	
	5	6	7	8	9	10	11	
	6	7	8	9	10	11	12	